



ひとりだち



恩返し

主幹教諭 中島 敦

今年度西可児中学校に赴任した主幹教諭の中島敦と申します。よろしくお願ひします。私は7年前にもこちらでお世話になったので、7年ぶりになります。当時たくさんの経験を積ませていただきました。校舎内を見てまわると中庭のさくら、格技室、体育館、教室、施設はほとんど変わってなくて、懐かしさと同時に愛着感があり心が洗われるような思いを抱きました。



施設だけでなく、当時の生徒たち、教職員、保護者の方々との思い出もたくさんありました。当時顧問として所属していた野球部では、いろいろな経験をさせて貰いました。中体連での活躍、新しくできたKYBスタジアムでの大会、中濃大会での準優勝出来たこと、保護者会での慰労会など生徒たちだけでなく、保護者の方々にも、本当に良くしていただきました。協友祭では、チームジャンプで教員も生徒も本気になって取り組んでいったことを覚えています。

合唱祭では、毎年行われるア－ラでの学年合唱の迫力ある素晴らしい歌声には感動して涙したことを覚えています。そういった経験をさせてもらえた西可児中学校の生徒たち、教職員、保護者や地域の方々にあたためて感謝申し上げます。

そんな思い出に残る西可児中学校で少しでも恩返しを行うことができるようにしていきたいと思っています。今年度西可児中学校に赴任してまず思ったことは、やはり合唱が素晴らしいと感じました。これは、西可児中学校の伝統だと思います。中庭で行う全校帰りの会では、全学年が合唱を行いました。一生懸命歌う姿には、やはり感動させられました。

また、あいさつが素晴らしいと感じました。朝、下駄箱で挨拶をすると、「おはようございます。」とあいさつを返してくれたり、自分から挨拶する姿がたくさん見受けられました。

今年度、西可児中学校では、学校教育目標「ひとりだち」に向けて、様々な取組を行なっています。

そのキーワードになるのが、「安心とワクワク」です。生徒が安心できる環境づくりです。例えばipadを使った生徒同士、教師と生徒同士の先進的な学習環境づくり。また生徒指導に関して言えば、担任、生徒指導、スクールカウンセラーなど、多くの職員が生徒の自己実現が達成できるよう見届けが行われています。そういった安心した環境下で、ワクワクすることが行われています。例えば、職員室前での職員の自己紹介の掲示。(これが本当に面白いです！)その他にも教職員による部活動紹介や吹奏楽部のガーデンライブを行ったりなど、生徒だけではなく、教職員もワクワクするような取り組みが企画されています。(詳しくはホームページをご覧ください！)

そんな環境下で多くの取組を経る中で、生徒がひとり立ちに向けての資質の向上を図っていきます。皆様には、生徒のひとりだちに向けて多くの見届けやご支援をお願いすることとなりますが今後ともよろしくお願い致します。